

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立佐用高等学校体育館 Dコート

試合区分: No. 212 成年女子 準々決勝

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 田邊 真由美

開始時間: 11:55

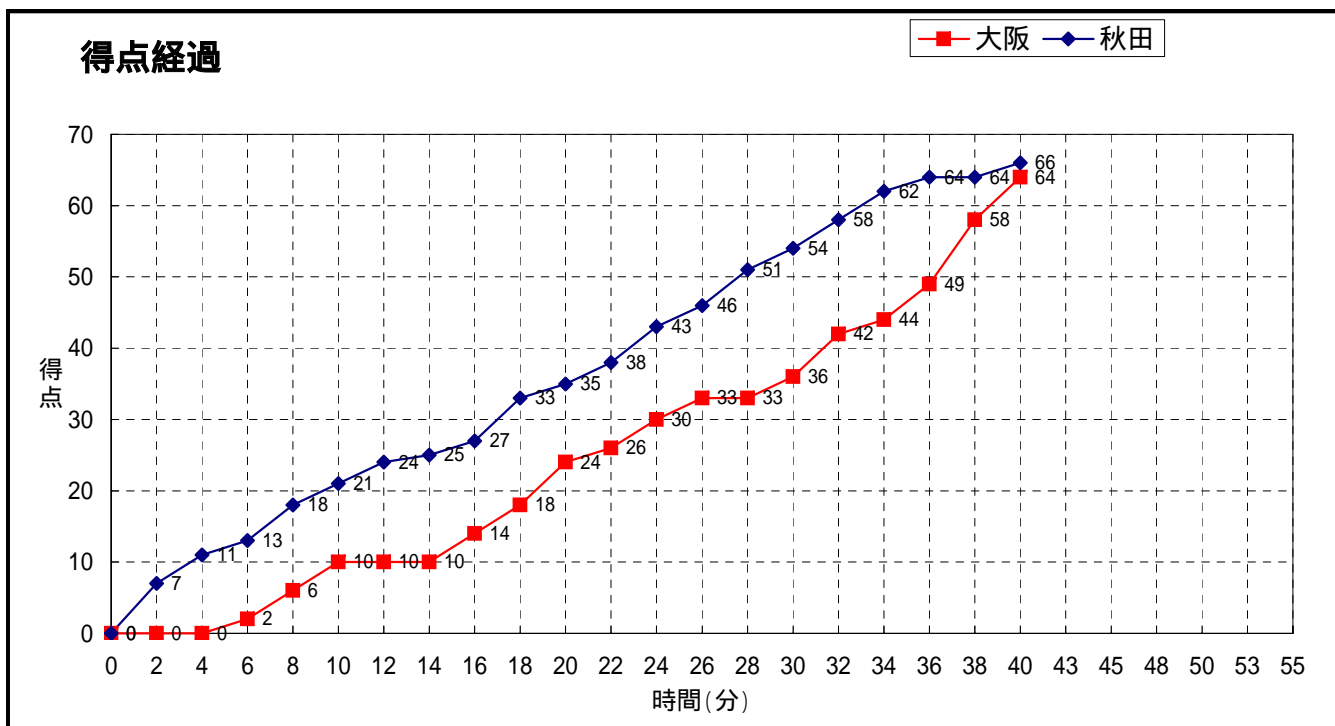
副審: 佐藤 公彦

終了時間: 13:20

入場者数: 289

秋田						大阪									
66						64									
(東北)						(近畿)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松橋 美津代	6	1	1	1	3	4	*	川上 奈恵美	2	0	1	0	0
5	*	山手 陽子	11	0	4	3	4	5		小川 菜実子	-	-	-	-	-
6		大和谷 雅子	2	0	1	0	2	6		後藤 香奈	13	3	2	0	5
7	*	佐藤 麻衣	19	3	3	4	5	7		足立 加奈子	13	1	2	6	1
8		福司 恵美子	-	-	-	-	-	8	*	田村 真理子	1	0	0	1	1
9	*	伊藤 千佳	2	0	1	0	3	9		川西 友子	19	1	7	2	4
10	*	石岡 美香	7	0	1	5	1	10	*	西村 ちよ	4	0	2	0	2
11		佐々木 智未	-	-	-	-	-	11		梅澤 裕貴	6	0	3	0	1
12	*	大島 ゆり	10	2	2	0	2	12	*	堀部 涼子	0	0	0	0	0
13		有明 葵衣	9	0	3	3	0	13	*	山口 祐理子	0	0	0	0	2
14		山内 晴美	-	-	-	-	-	14		杉中 悠香利	6	0	2	2	1
15		保坂 和音	-	-	-	-	-	15		三宅 史恵	0	0	0	0	0
コーチ		木村 仁						コーチ		田尻 肇					
合計			66	6	16	16	20	合計			64	5	19	11	17

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、#12大島の3Pシュートで先制した秋田が、#7佐藤のシュートなどで得点を重ねる。一方、大阪はターンオーバーが続き、3分間ノーゴールが続く。たまたま、タイムアウトを取る大阪。その後も流れは変わらず、パスがスムーズに回らない大阪に対し、秋田#12大島、#9伊藤の活躍で21-10と秋田がリードして終了。
 第2ピリオド、大阪のゾーンディフェンスに苦しむ秋田だが、対する大阪も、4分間ノーゴールと点差を縮められない。中盤からゲームが動き出し、秋田#5山手、#13有明のシュートが決まり、残り2分で33-18と秋田がリードを広げる。大阪も#9川西の8得点で追いつき、11点差として第2ピリオド終了。
 第3ピリオド、常に先手を取る秋田だが、大阪も#11梅澤のシュートで意地を見せる。49-33と点差を広げられた大阪は残り3分にオールメンバーチェンジで流れを変えようとするが、秋田の激しいディフェンスにあって、逆に点差は広がっていく。54-36と秋田がさらにリードを広げ終了。
 第4ピリオド、展開を速くした大阪のオフェンスリズムが良くなり、#6後藤の連続3Pシュートで点差を詰めにかかると。しかし、秋田も#13有明のドライブインで応酬する。中盤、秋田の足が止まりだし、大阪がじわじわと追い上げた。大阪#7足立の3Pシュート、#9川西のシュートが決まり、4点差になったところで、秋田たまたまタイムアウト。秋田は#12大島をコートに戻し、逃げ切りにかかる。残り6秒、ついに大阪が2点差に追いつく。そして残り2秒、大阪は同点のチャンスを得るが、ドライブインシュートが決まらず、秋田が66-64で熱戦を制した。

担当者: 田中 希佳(相生市バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会